

警察庁によると、令和3年上半期

(1～6月)の交通事故発生件数(以下、速報値)は14万5760件、死者数1198人、負傷者数17万2013人で、発生件数は前年比で273件増え

ました。高齢者の死者数は

684人と、全体の約6割を占めます。飲酒による死亡事故は71件で、下校時の小学生が巻き込まれるなど悲惨な事故は後を絶ちません。

都道府県別の交通事故死者数

交通法令を順守しましょう

は、大阪府が71人と最も多く、埼玉県61人、千葉県59人。最も少ないのは、島根県4人、石川県8人、鳥取・宮崎県9人となっています。

ちよつとした不注意や気のゆるみが事故につながってしまいません。夏休みが終わり、残暑も続きますが、車の運転や道路を歩行する時には、交通法令を順守して事故を防止しましょう。



交通安全三原則